

田口涼太郎プロテニスプレイヤー 長与出身(長与第二中卒)

# 第100回全日本テニス選手権大会 シングルス・ダブルス **初優勝!**

おめでとうございます!

田口プロのからのコメント

「応援ありがとうございます。

これからも上を目指して頑張ります。」



田口(長与出身) **初V**

テニスの三養電機ビルソリユ  
12日、東京・有明コロシアム  
で西彼長与町出身の田口涼太郎  
優勝を果たした。田口はダブ  
ル形式で笑顔を見せる。=有明



男子シングルスで優勝し、ガッツポーズ  
する田口涼太郎。=有明コロシアム

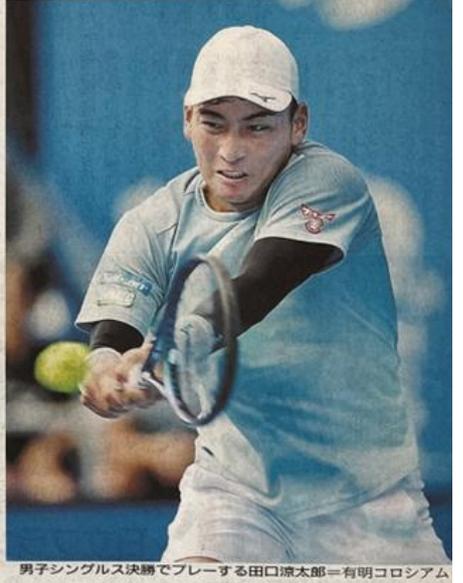
## 全日本テニス選手権 男子単・複

# 田口 けが乗り越え2冠

男子シングルス決勝で第8シードの田口涼太郎(Team RRC、西彼長与町出身)がノーシードの市森謙(フアインドラステーション)に6-4、7-5でストレート勝ちし、初優勝を飾った。田口は野口政勝(ONEDROP)と組んだ男子ダブルスも制して2冠に輝いた。女子ダブルスは小畑穂子・山崎郁美組(橋本製菓・島津製作所)が頂戴に立った。

男子シングルス決勝  
田口涼太郎(有明コロシアム) 6-4、7-5  
市森謙(フアインドラステーション) 4-6、5-7

### 長与出身の25歳「言葉がない」



男子シングルス決勝でプレーする田口涼太郎。=有明コロシアム

月の右足首の軟部組織を乗り越え、100回大会で頂戴に立ち「記念すべき大会で勝つて、すくすくしたい。言葉がない」と達成感に浸った。西彼長与町出身。父球也さん(65)の影響で幼稚園の年中からラケットを握り、長与南小6年時に全日本ジュニア選手権12歳以下の部ダブルスで優勝した。長与一中卒業後は「もっと強くなりたい」と強豪の大阪舞鶴高に進学。2年夏のインターハイ個人シングルスで準優勝し、近大3年時に全日本学生選抜選手権でシングルスでは初の全国タイトルを獲得した。プロ3年目。この日の決勝は、サーブをコースに打ち分け、第1セットを奪取した。

第2セットは相手の積極的なプレーに押され、2-15となつたが「アタセットを取られるならフォアハンドを打ち切る」と持ち味を出すことを心がけた。5ゲーム連取で一気に逆転した。けがを機にバク・ジョコビッチ(セルビア)に倣ってヨガを取り入れたことで、課題としていた柔軟性が向上した。左肩は可動域が広がり、サーブの安定につながったという。

回復途中ながらコーチの「タイトルを取って自信を付けよ」との助言で今大会に臨んだ。「ここから仕切り直してクラントスラムを目指していきたい」と意欲を話した。

記事は10月13日付長崎新聞社様より許可を得て引用しています。